

東京  
肝臓のひろば

令和8年(2026年)6月号 第272号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201  
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564  
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会  
<http://www.tokankai.com>



羽黒山の爺杉 ～山形県鶴岡市～ 切り絵 佐藤廣士さん

# 5/26 日肝協 国会請願行動・院内集会 報告

国会要請行動・院内集会

## 集まった署名は **42,866** 筆でした

### みなさんご協力ありがとうございました！

5月26日(火)、衆議院第一議員会館地下大会議室にて集まった署名用紙をもって11時から院内集会を開催しました。全国から日肝協のほか全国B型肝炎訴訟原告団、薬害肝炎全国原告団のみなさんも含め160名の方々が参加しました。集会では厚労省肝炎対策推進室長のご挨拶をはじめ、与野党17名の国会議員より激励のお言葉をいただき、肝がんや重度肝硬変患者への支援をもっと前に進めたいという熱い思いが私たち患者にも伝わり、日々肝炎対策に関わっている方々と私たち患者との気持ちがひとつになった集会となりました。

午後から参加者はグループに分かれ、衆議院、参議院25名の紹介議員に厚生労働委員会(議長)への提出をお願いしました。採択、不採択については、第221国会会期末である7月17日までに審議され国会閉会後に結果が通知されます。その結果は次号(8月号)でお知らせいたします。※自己免疫性肝疾患の署名については「PBC・AIH・PSC通信」でご報告します。

この度の国会請願署名におきましては、患者のみならず多くの医療関係者のみなさまのご協力をいただきました。お忙しい中本当にありがとうございました。また、会員さんより多くの募金をお送りいただきこの紙面を持ちましてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

日本肝臓病患者団体協議会 代表幹事

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会 事務局長 米澤敦子



厚労省肝炎対策推進室 木村剛一郎室長



肝炎対策推進議員連盟会長の田村憲久衆議院議員

もくじ | Index |

東京肝臓のひろば 272

- 2 国会請願行動・院内集会報告
- 3 東京肝臓友の会主催 東京都委託事業 医療講演会「自己免疫性肝疾患を学ぶ」  
講師：帝京大学医学部内科学講座教授 田中篤先生
- 30 PBC・AIH・PSC通信
- 31 ジコメン・メディカル  
帝京大学医学部付属病院 田中篤先生

- 32 活動日誌(4月、5月)
- 33 情報BOX  
患者会からの行事案内 医療講演会のお知らせ
- 36 第14回日肝協主催肝炎デーフォーラムのお知らせ

## — 肝臓病医療講演会 東京と委託事業 —

# 自己免疫性 肝疾患を学ぶ

## ～新規治療薬開発の光と影～

日時：2026年3月21日13時30分～15時  
会場：田町グランパークカンファレンス 401ホール

講師：田中 篤 先生  
(帝京大学医学部内科学講座教授)



司会 三連休の中日にかかわらず、たくさんの方にお集まりいただきましてありがとうございます。司会を務めます東京肝臓友の会スタッフの古川祥子です。

本日お話しいただく帝京大学医学部消化器内科教授、田中篤先生のご紹介をいたします。1988年、東京大学医学部をご卒業後、聖路加国際病院、東京大学第一内科、カリフォルニア大学デービス校等を経て、2003年に帝京大学医学部内科学講座の講師、2011年から教授を務めていらっしゃいます。ご専門はウイルス性肝疾患と自己免疫性肝疾患です。厚生労働省の難治性肝胆道疾患に関する調査研究班の研究代表者も務められ、本日お話しいただくAIH、PBC、PSCといった私たちの病気にも大変詳しい先生です。東京肝臓友の会でも以前から講演会などでなにかとお世話になっておりまして、特に会報紙のコラムに、毎号貴重な情報を載せてくださっ

ています。では田中先生、よろしくお願いたします。

田中 みなさま、こんにちは。ご紹介いただきました帝京大学の田中です。古川さんにも触れていただきましたが、私は2020年から、厚生労働省が難治性疾患の研究対策班というものを組んでおりまして、その研究代表者を務めています。その関係で地方の自治体が主催する難病講演会にお招きいただきとがあって、今日はたくさんの方にお集まりいただいたので、ちょっと緊張しておりますが、どうぞよろしくお願いたします(笑)。

余談ですが、東京肝臓友の会の講演会には何回か呼んでいただいたことがあって、調べたところ前回は2年前の2024年3月でした。実は今日使うスライドと2年前に使ったスライドはけっこうダブっています。「またこの話か」と思われるかもしれませんが、今日は今までとは違ったお話をしたい

と思います。今年は自己免疫性肝疾患の治験がいくつか始まることになってるので、新しい薬の開発の話混ぜながらお話しいたします。

自己免疫性肝疾患には、自己免疫性肝炎(AIH)と原発性胆汁性胆管炎(PBC)と原発性硬化性胆管炎(PSC)の3疾患があります。その病気の解説をしていると、だいたいいつも似たような話になってしまふんですね。ですから今日は毛色を変えて話そうと思います。そういう意味では病気の基本的な解説の話は減るかもしれませんが、もしおわかりにくいことがありますしたら、いつでもご質問ください。

我々の研究班でつくっているホームページがありますが、QRコードを読み取っていただくとホームページが出てきます(図1)。ここに質問コーナーを設けており、週に1件くらい患者さんからご質問をいただいております。もしわ

からないことがありましたら、こちらにご質問いただければ、2、3日くらいでお返事できるようにしていますのでご活用ください。

**自己紹介**

田中 篤

▶帝京大学医学部消化器内科 教授

▶厚生労働省難治性疾患政策研究  
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」研究代表者 (2020年4月～現在)

(http://www.hepatobiliary.jp)

図1

●自己免疫性肝疾患

では本題の自己免疫性肝疾患の話を始めます。自己免疫性肝疾患には3つあって、PBCは10年前の2016年に名前が変更されました(図2)。

**自己免疫性肝疾患 (autoimmune liver disease)**

- 自己免疫性肝炎 (autoimmune hepatitis; AIH)
- 原発性胆汁性胆管炎 (primary biliary cholangitis; PBC)  
2016年病名変更 (それまでは原発性胆汁性肝硬変でした)
- 原発性硬化性胆管炎 (primary sclerosing cholangitis; PSC)

図2

日本では自己免疫性肝疾患の患者さんは増えています(図3)。PBC、AIHは、前回の調査の2004年から12年間で約3倍、PSCは約2倍と増えています。興味深いのは、男性の患者さんが増えていることです。私は1988年に大学を卒業したのですが、私の

**自己免疫性肝疾患の患者さんは増えています**

	有病率 (人口10万人)			女性/男性比		
	前回調査*	2016	2026	前回調査*	2016	2026
PBC	11.6	33.8		7.06	4.26	
AIH	8.7	23.9	?	6.94	3.89	?
PSC	0.95	1.80		1.36	0.88	

\*前回調査: PBC & AIHは2004年, PSCは2007年 (Tanaka A, et al. Hepatol Res, 2019)

図3

学生時代はPBCもAIHも男女比は大体1:9、男性に比べて女性の患者さんが9倍いるという話でしたが、現在は1:4くらいになっ  
ているので、相対的に男性の患者さんが増えていることがわ  
かっています。

これは日本だけの話ではなくて世界中でそのような傾向があり、  
デンマークとヨーロッパでも同じ  
ようなデータが出ています。なぜ  
増えているのかは、なんとなく見  
当はついていないものの、まだはっ  
きりとした原因はわかっていま  
せん。

2027年には10年ぶりに自己  
免疫性肝疾患の有病率の調査をす  
る予定で、みなさんが行かれてい  
る病院の先生方に、今年は何人の  
患者さんを診察したかを聞いてい  
きます。前回調査した16年から10  
年経過して、患者さんの数がどれ  
くらい増えたかがわかると思いま  
す。27年の後半か28年には今年の  
数字が出ると思いますが、多分ま

たグッと増えているのではないかと  
予想しています。これについては  
色々な理由があるのですが、お  
そらく環境の変化であろうと考え  
られています。

消化器内科医にとってAIHや  
PBCという病気は、実はそれほど  
大変な病気ではありません。処  
方した薬をずっと飲んでいただけ  
れば、さほど悪くなることはあり  
ません。ただ、逆に病気が進行し  
た患者さんの中に、どのくらい自  
己免疫性肝疾患があるかを調べる  
と、まだまだ比率は高いことがわ  
かります(図4)。

左のグラフは肝硬変の患者さん  
全体の中で、どのくらい自己免疫  
性肝疾患の患者さんがいるかを、  
23年に日本肝臓学会が調べたデー  
タです。日本はもともとC型肝炎  
が非常に多かったのですが、20年前  
くらいまでは肝硬変の原因の半分以  
上はC型肝炎でした。ところがC  
型肝炎はどんどん減って、C型肝炎  
は全体の4分の1くらいになっ

ています。36%と一番多く占めて  
いるのは、アルコールによる肝硬  
変です。昔から酒飲みは肝臓を悪  
くするというのは有名ですが、ま  
さにそのとおりでアルコール性の  
患者さんが今は一番多いです。M  
ASH(脂肪肝)の人は3番目に多  
く、自己免疫性肝炎を表す「Auto-

自己免疫性肝疾患はまだ難治性の疾患です

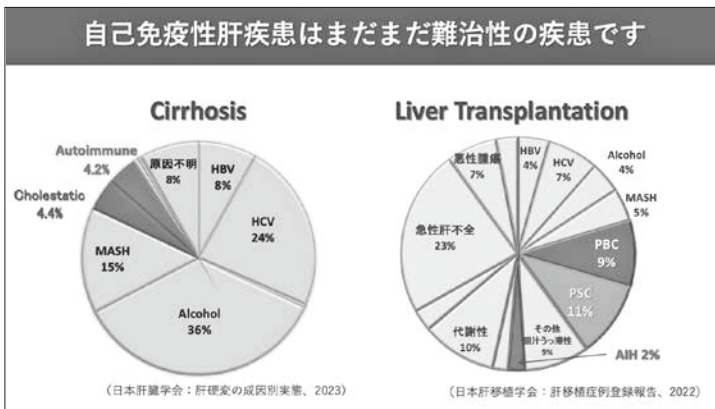


図4

immune」と「Cholestatic」はPBCとPSCで、合わせると9%くらいです。この調査は5年に1度くらいで行われていますが、実はこの数字はずっと変わらず、いつ調べてもAIHとPBCとPSCの患者さんの割合は、大体10%弱くらいです。

肝臓が悪くなると肝臓を移植しないと救命できないのですが、右のグラフは肝移植をした患者さんの原因疾患を調べたものです。一番多いのは急性肝不全で、ウイルス性肝炎や薬の副作用など様々な原因で急激に肝臓の機能が廃絶する病気です。これはすぐに移植をしないと救命できないため、移植の原因疾患としては一番多くなっています。PBCとPSCは、それぞれ9%と11%で全体の2割くらいを占めています。AIHは2%です。

PBCとPSCは基本的に珍しい疾患で、肝臓の病気全体の中の比率は高くないのです。PBC

### 第1章

肝臓の病気の基礎知識

なぜ「脂肪肝」になるの? / 食事で改善! 9つの基本ルール / 生活習慣を見直して脂肪肝をリセット

### 第2章

脂肪肝にやさしいレシピ70

肉のおかず / 魚のおかず / 豆腐・卵のおかず / 野菜のおかず ほか

### 第3章

中食・外食のじょうずな食べ方

病態監修 加藤眞三 慶應義塾大学看護医療学部教授  
栄養指導・献立 鈴木和子 東京家政大学非常勤講師・管理栄養士 / 大木いつみ 慶應義塾大学病院食養管理室課長・管理栄養士

東京肝臓友の会で販売しております。

[書籍代] 1,430円 + [送料] 200円

お電話・FAXにてお申込みください。

電話：03-5982-2150 FAX：03-5982-2151

(火・木・金曜日\*祝日を除く、10時～16時)



◆脂肪肝は食生活を見直すチャンスでもあります。本書でご紹介する70品のレシピに食事のポイントが詰まっています。



### 第1章

慢性肝炎・肝硬変の基礎知識

肝細胞のまわりに炎症が起きる「肝炎」 / 肝臓がかたくなる「肝硬変」 / 慢性肝炎・肝硬変の食事の基本 / 合併症があるときの食事のポイント

### 第2章

肝臓を守る食事

慢性肝炎から肝硬変代償期 / 肝硬変非代償期(軽症の人) / 肝硬変非代償期(重症の人) / 紹介レシピの組み合わせ例 / 慢性肝炎・肝硬変Q&A / ほか

[書籍代] 1,430円 + [送料] 200円

お電話にて当会までお申込みください。

電話：03-5982-2150

(火・木・金曜日\*祝日を除く、10時～16時)

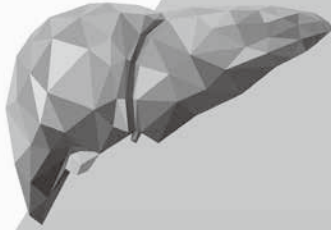
◆肝臓病の食事療法は、病気の進行によって気をつけるポイントが異なります。なにをどのくらい食べてよいのか迷ったときは、ぜひ本書を手にとってみてください

## 書籍のご紹介

# 肝炎のはなし HEPATITIS STORY

巨大感染症の発見と  
その克服の30年

竹原徹郎 [著]



朝倉書店

- 第1章 C型肝炎ウイルスの発見
- 第2章 ウイルスの発見がもたらしたこと
- 第3章 C型肝炎のインターフェロン治療
- 第4章 DAAの時代—直接作用する抗ウイルス薬
- 第5章 DAAがもたらした「新しい肝臓像」
- 第6章 これからの肝疾患

大阪大学医学部教授で日本肝臓学会理事長の竹原徹郎先生の著書です。C型肝炎の歴史を、非A非Bの時代から完治できるようになった今日まで詳しく解説しています。C型肝炎を克服したみなさん、「肝炎のはなし」を読んでご自身の療養の歴史を振り返ってみませんか。

**[書籍代] 2,970円 + [送料] 200円**

お電話かFAXにてお申込みください。

電話：03-5982-2150 FAX：03-5982-2151

わかりやすい本です。  
スタッフおすすめ!

## 書籍のご紹介

肝臓がんの治療法(ラジオ波などの焼灼療法、塞栓・動注・分子標的薬による化学療法から、最新の切除法、陽子線・重粒子線治療、移植、免疫療法まで)について、経験豊富な先生方により図解付きで詳しく解説されています。

治療にぜひお役立てください。

東京肝臓友の会で販売しております。

**[書籍代]1,980円 +[送料] 200円**

お電話にてお申込みください。

電話：03-5982-2150

(火・木・金曜日\*祝日を除く、10時~16時)

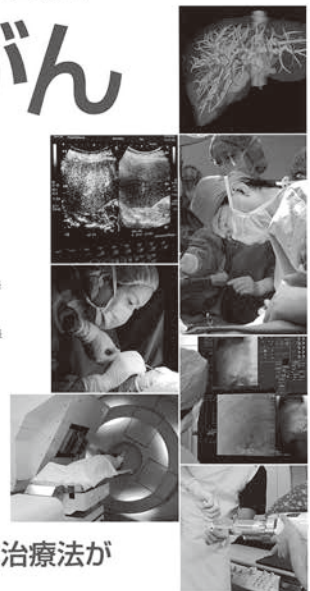
ベスト X ベスト シリーズ

## 名医が語る 最新・最良の治療

# 肝臓がん

日本大学医学部  
消化器外科教授  
**高山忠利**  
兵庫医科大学消化液センター長  
内科・肝胆臓科教授  
**飯島尋子**  
東京大学医学部大森病院  
一般消化器外科主任教授  
**金子弘真**  
東京大学大学院医学系研究科  
肝胆臓外科・人工臓器移植  
外科学分野教授  
**国土典宏**  
武蔵野赤十字病院  
消化器科部長  
**土谷 薫**  
国立病院機構九州医療センター  
肝臓・胆道・膵臓外科科長  
**高見裕子**  
国立がん研究センター中央病院  
院長・放射線科部長  
**荒井保明**

公益財団法人日本研究所附属  
胃癌センター  
消化器・肝胆臓科部長  
**小尾俊太郎**  
杏林大学医学部内科学  
腫瘍内科学教授  
**古瀬純司**  
筑波大学大学院  
人間総合科学研究科教授  
筑波大学附属病院  
腫瘍学・放射線科センター長  
**櫻井英幸**  
(株)放射線医学総合研究所  
重粒子医学センター病院院長  
**安田茂雄**  
東京女子医科大学  
消化器外科学教授  
**江川裕人**  
国立がん研究センター東病院  
腫瘍学センター  
免疫療法開発分野科長  
**中面哲也**



あなたに合ったベストな治療法が  
必ず見つかる!!

【法研】

日肝協  
主催

# 第14回 世界・日本肝炎デーフォーラム 開催

日時：2026年 **7月26日** (日) 14:00～16:30

会場：星稜会館

東京都千代田区永田町 2-16-2

・東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅6番出口より 徒歩3分

・東京メトロ千代田線 国会議事堂前駅5番出口より 徒歩5分

・東京メトロ南北線 溜池山王駅5番出口より 徒歩5分

## プログラム

1部 主催者 来賓あいさつ

2部 医療講演会

テーマ

## 「ベトナムにおける肝臓病の現状と今後 (仮)」

講師：河田 則文 先生

大阪公立大学大学院医学研究科 特任教授

# 同病者による面談相談

☆肝臓病療養のこと、生活のこと、なんでも お気軽にご相談ください☆

日時：**7月30日(木) 8月30日(日)**

13時30分～16時30分 (1人1時間)

場所：東京都障害者福祉会館1階 相談室

対象：東京都在住、在勤の方優先

主催：東京都

相談料：無料 (予約制)

相談員：米澤敦子 (東京肝臓友の会 事務局長)

## 申込方法

※電話でお申し込みください。

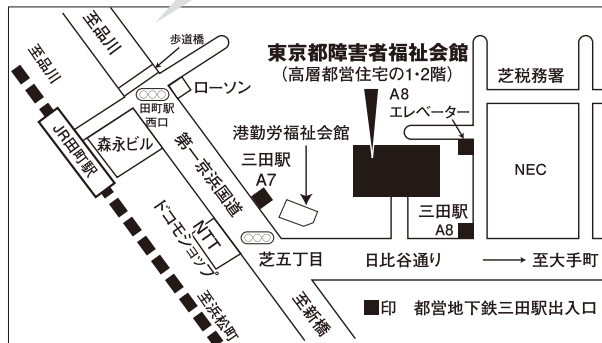
【申込先】都障害者福祉会館相談係

〒108-0014 港区芝5-18-2

☎ 03 (3455) 6321

## 【交通案内】

- ◆JR「田町駅」西口徒歩5分
- ◆都営三田線「三田駅」出口A8 徒歩1分
- ◆都営浅草線「三田駅」出口A7 徒歩1分



本会報掲載の記事を転載する場合はご連絡ください。